



(写真：農事組合法人ぴりかファームの水田で田植えを行う今金小学校の児童の皆さん)

農繁期を迎えました  
農作業事故には**十分注意を!!**



## J Aバンクは食育を応援しています！！

今金小学校  
谷口光伸 校長（写真右）



種川小学校  
安田彰浩 校長（写真左）



5月27日、小田島親守組合長が今金町小学校・種川小学校を訪問しJ Aバンク食農教育応援事業の一環として補助教材を贈呈しました。J Aバンク食農教育応援事業は平成20年から行われており、当J Aでも毎年教材の贈呈を行っています。

この事業は小学校高学年に向けて農産物の生産、農産物の流通などについて、補助教材を通じて子供達が学び、改めて農業との繋がりを意識し農業への理解を深めてもらうことが狙いです。また、それらをきっかけとして農業体験学習活動、地元食材を使った学校給食の促進活動など教育活動の実践が行われることも大きな目的としています。

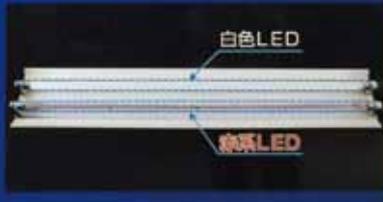
教材は、今金小学校には5年生37名分・種川小学校には5・6年生8名分が贈られました。

### 馬鈴薯の緑化抑制試験に取り組んでいます

北洋銀行ドリーム基金  
研究開発 実証試験中

**馬鈴薯緑化抑制LED灯の開発**

馬鈴薯は光が当たると容易に「緑化」し、食用に適さなくなる作物です。  
緑化防止のため、貯蔵庫内は「暗い環境」で作業することで、品質管理をおこなってきました。  
本製品は、北海道電力(株)総合研究所の保有する知見と、昭和電工(株)のLED製造技術により開発されました。  
「作業に必要な明るさを確保する」白色LED  
「緑化を抑制する」赤色LED  
2つの異なる性質を持つLEDで構成することで、作業環境の改善と品質維持を両立させた製品です。



開発 ㈱ 田尻機械工業株式会社  
協力 今金町農業協同組合  
北海道セイカン工業株式会社

当J Aでは23号倉庫の馬鈴薯貯蔵庫に試験的にLED灯を設置し、馬鈴薯の緑化抑制の実証実験を行っています。従来は緑化抑制のため暗所で作業でしたが、LED灯の使用により庫内が明るくなり安全性の向上と緑化抑制の両立が図られています。今後モデル収集を行っています。

▲普及品とは異なる特別な波長のLED灯

### 今金小学校の児童たちが田植えを行いました



5月27日、今金小学校の児童たちが農事組合法人ぴりかファームの水田において田植えを行いました。この取組は同法人の協力のもと10年ほど前から行われており、田植えだけでなく生育の観察や収穫・脱穀等といった、精米になるまでの作業を総合的に学ぶ内容となっています。楽しみながら農業を身近に感じる事が出来る、素晴らしい取組です。

## ライスターミナルを小学生が社会科見学



5月17日、町内の小学生が社会科見学の一環として「函館育ちライスターミナル今金工場」へ見学に訪れました。

当日は販売課の職員が、どうやってお米が育ち、ライスターミナルに持ち込まれるのかが分かりやすく説明し施設内を回りました。児童達はメモをとったり、質問をしたりと熱心に聞き入っていました。

## 大自然でモ～のんびり



5月20日、町内の酪農家から放牧のため集められたホルスタインが日進牧場へ入牧しました。

当日は酪農畜産課をはじめとする営農部職員とともに、役場・共済組合など関係機関の皆様にも応援を頂いて作業が行われました。牛たちは、秋頃まで牧場に預けられ、大自然の中でのびのびと成長します。

## 水稻奨励品種決定現地調査圃 で田植えが行われました



5月27日、水稻奨励品種決定現地調査圃において田植えが行われました。本年も八鈴地区の平原大輔さんにご協力頂き調査を実施していきます。

調査圃場はデータ収集のみならず地域の技術研修の場としても重要な役割を果たしており、米政策の転換期を迎える現在にあつては、より地域に適した米作りを追求するのに欠かせない取り組みとなっています。

## 新鮮野菜が盛りだくさん！ もぎたて市がスタートしました♪



「もぎたて市」ファンの皆様お待たせしました！今年もAコープいまかね店にて、今金町農協女性部の皆さんによる新鮮野菜の販売が始まりました。

毎朝収穫したての野菜たちが、ずらりと店頭に並ぶもぎたて市は「新鮮で美味しい」「地産だから安心」と大好評。ご来店お待ちしております！

生産資材課より **農業資材の事なら生産資材課までご用命ください！**

日頃より、生産資材課をご利用頂きまして誠にありがとうございます。  
組合員の皆様へ以下の通り各担当者の業務内容をお知らせ致します。  
皆様のご来店・ご用命を心よりお待ちしております。

氏名	主な担当業務
佐々木 秀樹	総 括
金木 徹	肥料・包装資材・建材
尊保 知之	農薬・穀物種子（水稻・小麦・雑穀）
大泉 遼	温床資材・飼料種子・配達
橋本 久美子	経理事務・バラ飼料受注
山内 真奈美	紙袋飼料・酪畜薬・その他資材
佐々木 弘美	種子（露地・施設野菜）・その他資材

農業経営課より **今年度の各営農地区担当です！宜しくお願い致します！**



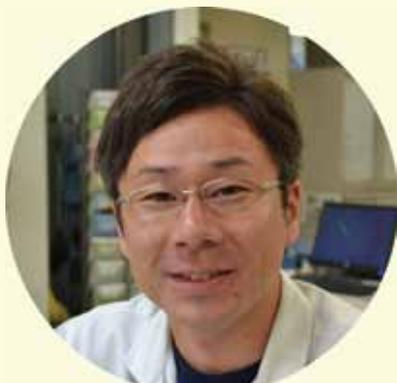
**吉田 哲也**  
上地区・種川・メップ 担当



**岡野 孝**  
稲穂・今金 担当



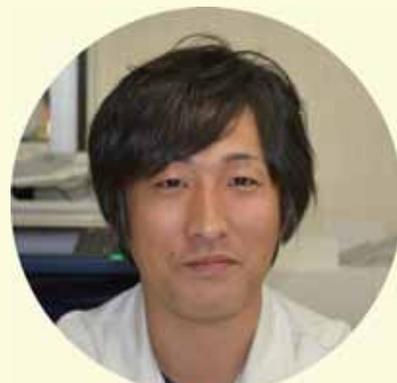
**螺良 道子**  
田代・八鈴 担当



**田畑 大郁**  
トマンケシ・神丘南  
神丘北・鈴岡 担当



**佐藤 孝弘**  
鈴金・豊田・金原 担当



**菅野 康弘**  
八東西・八東東  
白石・日進 担当



【氏名】大泉 遼 おおいすみ りょう

【出身地】札幌市

【年齢】25歳（平成2年11月生まれ）

【所属部署】営農部生産資材課

【奉職年数】3年目（平成26年入組）



生産資材課へ異動となりましたが、仕事は慣れましたか？

今までは、管理課・スタンドと事務中心の業務内容でしたが、資材課という事で農業に深く関係するのは初めてになります。運転が苦手なので、現在練習中です（汗）

趣味・プライベートなど教えてください

映画を見るのが好きで、大学のサークルでは映画研究会に所属していました。ジャンルは色々見ますが、特に「007」が好きですね、スパイものが好みます。近くに映画館が無いので、実家に帰ったときにたくさん見るようにしています。それと、イラスト（漫画系）を描くのも好きです。

PRを一言

覚える事がたくさんありますし、まだまだ不慣れで組合員の皆さんにご迷惑をおかけする事もあると思いますが、がんばっていきますので宜しくお願いします。

Aコープいまかね店より、ご利用の皆様へお知らせいたします

## ポイントカードが変わりました

日頃よりAコープいまかね店をご利用いただき誠にありがとうございます。  
4月1日よりポイントカードの特典を変更させていただいております。

**更新がお済みでない方は、当店サービスカウンターにてお手続きいただきますようお願い申し上げます。**

### ●4月からの新しい特典は

- ・お買い上げ金額200円（税抜）ごとに1ポイントを加算いたします。
- ・ポイントが500点に達すると500円分の割引券を自動的に発行します。
- ・割引券は次回のお買い物からご利用できます。
- ・なお、新しい特典を受けることが出来るのはポイントカード会員規約にご承諾のうえ、更新もしくは新規に申込みされたお客様ご本人及びご家族とし、個人のお客様に限らせていただきます。

### ●新たなポイントカードへの更新手続きは

- ・旧ポイントカードと引き替えに更新させていただきます。
- ・旧ポイントカードのポイントはすべて商品券に御精算させていただき、500点に満たない端数は新しいポイントカードに移行させていただきます。
- ・新しいポイントカードは更新後、すぐにお使いいただけます。

## Aコープいまかね店 日曜休業のご案内

平成28年4月より日曜日の営業の一部を休業とさせていただきます。休業日は基本的に第1・第3日曜日としておりますが、季節行事などで前後する場合がございます。休業日については店頭広告及びレシートのメッセージ欄をご覧ください。

### 6月以降の休業予定日は下記の通りです

平成28年			平成29年		
6月 5日 (日)	9月 25日 (日)	1月 1日 (日)	2月 19日 (日)		
6月 19日 (日)	10月 2日 (日)	1月 2日 (月)	3月 5日 (日)		
7月 3日 (日)	10月 16日 (日)	1月 3日 (火)			
7月 31日 (日)	11月 6日 (日)	1月 15日 (日)			
8月 21日 (日)	11月 20日 (日)	1月 31日 (火)			
9月 4日 (日)	12月 4日 (日)	2月 5日 (日)			

# 檜山農業改良普及センター檜山北部支所より

## 営農情報 6月号

	今後の農作物管理		今後の農作物管理
水稲	<p>◎6月から7月は分けつ盛期、幼穂形成期までにどれだけ目標穂数(600本/m<sup>2</sup>)に近づけるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本技術で生育促進と虫・草・ワキ害の回避を！</li> <li>晴天時は浅水・止水とし、入水は夜間～早朝に行う。また、①イネヒモグリバエ、イネミスゾウムシ、フタヒコヤガ等の被害有無確認と防除、②除草剤の適期処理(中期、後期)、③「ワキ」に対しては、適宜、水の入れ替えや天候の安定した時期に速やかに「中干し」を行う。但し幼穂形成期前迄に終了。</li> <li>幼穂形成期の確認と前歴深水かんがいの励行。</li> <li>6月末～7月初は幼穂形成期、その確認(幼穂長2mm)を行い、冷害危険期までの10日間は「前歴期間」と言い、耐冷性を高める重要な時期です。5～10cmの深水かんがいで平均水温25℃確保を。</li> <li>苗床の土壌分析実施と必要な改善策を！</li> <li>成苗ポットや型枠苗の置床では低pH・高リン酸の問題が顕著になっています。土壌分析と必要な改善対策の実施。</li> </ul>	大豆	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャガイモヒゲナガアブラムシの防除</li> <li>1回目 初生葉が展開したとき(クルーザー処理時は不要)</li> <li>2回目 1回目の7～10日後</li> <li>3日目 2回目の7～10日後(発生に応じて行う)</li> </ul>
		てんさい	<ul style="list-style-type: none"> <li>病害虫の適期防除</li> <li>根腐病は6月中～下旬頃から発生し、連作や短期輪作ほ場で発生が多くなります。</li> <li>害虫対策のためほ場をよく観察し、食害の程度を考慮して防除の必要性を検討しましょう。</li> <li>ヨトウムシ:被害株率50%以上で即時防除</li> <li>テンサイモグリハナハエ:12葉期の被害株率100%・被害葉(食害面積1/4以上)5枚/株以上で即時防除</li> </ul>
秋まき小麦	<ul style="list-style-type: none"> <li>止葉期以降の追肥</li> <li>平年より生育がかなり進んでいます。</li> <li>今時期の追肥は、子実の充実やたんぱく質の向上に効果があります。莖数や葉色を確認し、葉色が薄い畑は、すぐに追肥を行いましょう。</li> <li>また、赤かび病防除時の尿素2%液の散布も子実の充実に効果があります。葉焼けが起きる場合がありますので、朝晩の涼しい時間に散布しましょう。</li> <li>赤かび病防除</li> <li>穂全体に薬液がかかることで、開花時期の赤かび病菌の感染を防ぐことができます。穂の全体が、出揃ったらすぐに防除を行いましょう。1回目と2回目の防除を確実にすることが重要です。</li> </ul>	畜産	<ul style="list-style-type: none"> <li>牧草の刈取り適期は出穂期です！作業は天候の推移を見極めて行い、乾草からサイレージへ変更するなどの場合を想定し準備をしましょう。ロールラップサイレージは早期密封を心がけ、ビニール破損に注意し、破損したら速やかに補修しましょう。</li> <li>農場の衛生管理</li> <li>農場内への部外者の立ち入りや車両の通行を制限しましょう。病原菌の侵入を防ぐため、踏み込み消毒槽を設置してください。</li> </ul>
		ブロッコリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>定植後の管理</li> <li>コナガ・オオタバコガなどの飛来性害虫の初発確認は平年より早くなっています。発生状況の確認と、防除の準備をしましょう。</li> <li>中耕および培土は、1回目が定植後10～14日目頃、2回目は定植後20～25日目頃(うね間が葉でふさがると頃)に追肥を兼ねて行います。</li> </ul>
ばれいしょ	<ul style="list-style-type: none"> <li>疫病防除について</li> <li>疫病は、初発時の防除が重要です。</li> <li>ほ場の確認と「FLABS」による危険日到達予測を参考にし、適期防除に努めましょう。</li> <li>ジャガイモヒゲナガアブラムシ飛来予測</li> <li>4月1日からの積算気温で飛来時期を予測することができます。平年は5月末となっています。発生状況を十分に観察し、効果的な防除を実施しましょう。</li> </ul>	軟白長ネギ	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の適正使用</li> <li>ネギヒモグリバエが近年多発傾向にあります。葉を観察し白い点状の成虫食痕が見られたら薬剤散布を行って下さい。白い線状の幼虫被害が出てからでは防除の効果は得られにくいです。</li> <li>農業の使用に当たっては、希釈倍率、特に収穫間近のものは使用時期に注意し、計画的に防除を行いましょう。</li> </ul>
(大豆・豆類・小豆)	<ul style="list-style-type: none"> <li>除草剤の適正使用</li> <li>パワーガイザー液剤を使用する場合は、散布時期や飛散に十分注意して下さい。</li> <li>茎疫病に注意</li> <li>排水不良のほ場や多雨などでほ場が滞水すると多発します。気象情報に留意し、過去に発生したほ場では発病前(6月下旬～)に予防防除を行いましょう。</li> </ul>	ニンジン	<ul style="list-style-type: none"> <li>除草剤の適正使用</li> <li>ゴーゴーサン乳剤30は、は種後出芽前(200～400ml/10a)に使用します。</li> <li>ロックスは、は種直後(100～200g/10a)、もしくはニンジンの3～5葉期、雑草発生始(100～150g/10a)に使用します。</li> <li>ニンジンには、出芽後から3葉期未満では薬害のおそれがあるので散布時期を間違わないよう注意して下さい。</li> </ul>

檜山農業改良普及センター檜山北部支所

TEL 0137-84-5514 / FAX 0137-84-5596 / E-mail hiho-nokai-hokubu.11@pref.hokkaido.lg.jp

URL <http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>





今回のテーマは

## 牛の妊娠鑑定について

牛は授精後、受胎確認のために妊娠鑑定を行っている場合が多いと思います。ただ、鑑定する胎子の月齢は実施するタイミングによって様々です。また、その月齢によって妊娠鑑定方法も異なってきます。

そこで今回は、胎子の月齢による大きさと、私たちがどのように妊娠鑑定をおこなっているのかについて簡単にお話したいと思います。

### 胎子の大きさについて

胎子の大きさは大体ですが、1 か月齢前後ならば1.5 cm くらい、2 か月齢以降なら次のように計算し把握することができます。

$$\text{胎子の大きさ} = \text{胎子の月齢} \times (\text{胎子の月齢} + 2)$$

なので2ヶ月齢前後ならば8cm くらいと予想することができます。また、エコーで妊娠鑑定する際に、胎子の大きさをもとに、授精月日はずれていないか再確認することが可能となります。獣医師がエコーで妊娠鑑定している時に、画面を一緒に見てその大きさを確認してみるといいかもしれません。

### 色々な妊娠鑑定方法

妊娠鑑定の方法は胎子の月齢によって様々ですが、まずは直腸検査のみで判断するもの、もしくはエコーを使って判断するものの大きく2つにわけられます。以下に月齢によってどのような妊娠鑑定の方法があるのか紹介したいと思います。

#### <妊娠30日ごろ～>

①エコーによる診断：妊娠30日前後からは、小さな胎子の心臓が拍動していることが確認できます。これによって胎子が生きているか判断することが可能となります。

#### <妊娠40日ごろ～>

②胎膜スリップによる診断：胎子を覆う胎膜と子宮壁を直腸壁越しにつまみ、子宮壁から胎膜が滑り落ちることを確認します。

③子宮角の非対称：牛の子宮は左右2つの角に分かれており、そのうち一方に胎子が存在します。胎子がいる方の子宮角は日数が経過するにつれ、膨らみが大きくなり、もう一方の子宮角と非対称の大きさになります。この大きさの違いによって、妊娠を確認します。

早期に妊娠鑑定を行うことで不受胎牛を摘発し、次の受胎へ向けて適切な対策をとることが可能となります。また、繁殖成績の評価や生産性向上の面においても非常に重要な情報となってきます。また、妊娠40日前後の鑑定で妊娠プラスでも、その後落ちていたこともしばしばあるため、60日ごろに再度妊娠鑑定を行うといいかもしれません。

文：道南NOSA I 今金家畜診療所 松本 乃生

※このコーナーでは、皆さんからの疑問・質問を大募集中です！  
取り上げて欲しいテーマ等ありましたら、ぜひ農業経営課までご連絡下さい。



# 農繁期を迎えました！作業前にもう一度**安全確認**を！

年間の中で最も農作業事故の発生が多いのは、春作業が行われる4～5月頃と収穫期の9月頃です。

農作業事故の発生原因をみると、農業機械・施設の利用中が95%、その他の原因が5%となっています。特に農業機械利用中のものとしては、乗用型トラクター、歩行型トラクター（管理機）が73%を占めています。乗用型トラクターでは、移動時の転落による事故が多く、交差点を曲がりきれずにほ場や水路に転倒し、なげだされたり、トラクターの下敷きになったりといった事故が多く、歩行型トラクターでは、ハウス内でのバック耕うん時に跳ね上げられたハンドルと、ハウスの支柱等に挟まれたり、ロータリーに巻き込まれるといった事故が多く起きています。

**家族や農作業に関わる皆さんで農作業事故のポイントを確認し合い、事故の無い1年にしましょう！**

## 事故防止のための**注意点**

### □農業機械作業の注意点

- 道路の路肩や、ほ場の出入口、傾斜地でのトラクター等の転倒、転落に十分注意しましょう。（万が一の場合に備えて、安全キャブ又は安全フレームを装着しましょう！）
- トラクター等で道路を走行する時には、反射板や低速車マークを取りつけ、後方から追突されないよう十分注意しましょう。
- 作業を始める前には、農機具の取扱説明書の確認や、整備点検を行い、安全な運転操作に努めましょう。
- 機械の修理・点検や稲わら等を除去する時などは、必ずエンジンを停止させましょう。
- 機械に衣服などが巻き込まれないよう、作業に適した服装で作業しましょう。

### □農業機械作業以外での注意点

- 脚立やはしご等を使って作業する場合は、落下や転倒をしないよう、足場に十分注意しましょう。

### □万一の事故に備えた労災保険の加入

- 事故が発生した場合に備え、労災保険に加入し、必要に応じて障害共済等の各種任意保険にも加入しておきましょう。（労災保険に関する問い合わせは管理課まで）

